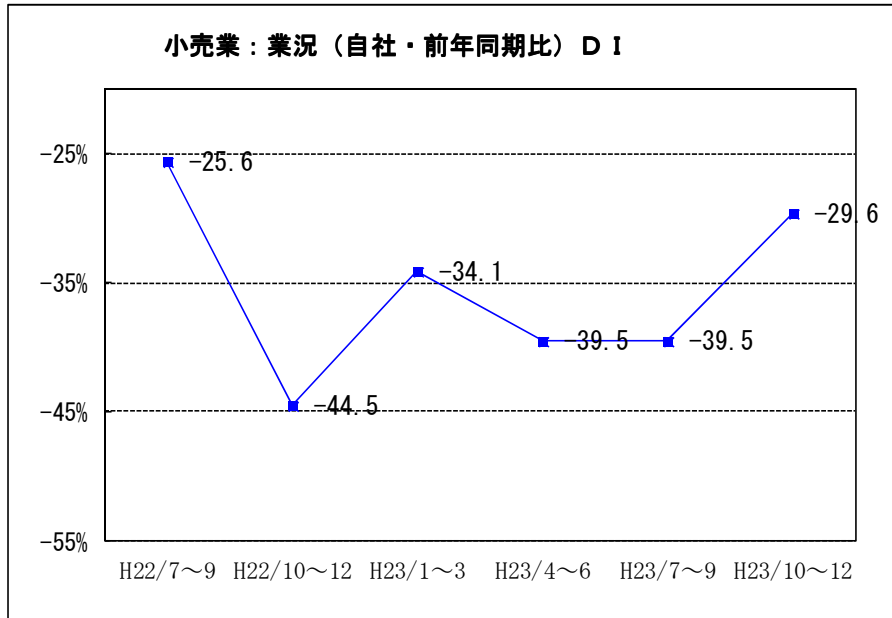


4. 小売業の動向

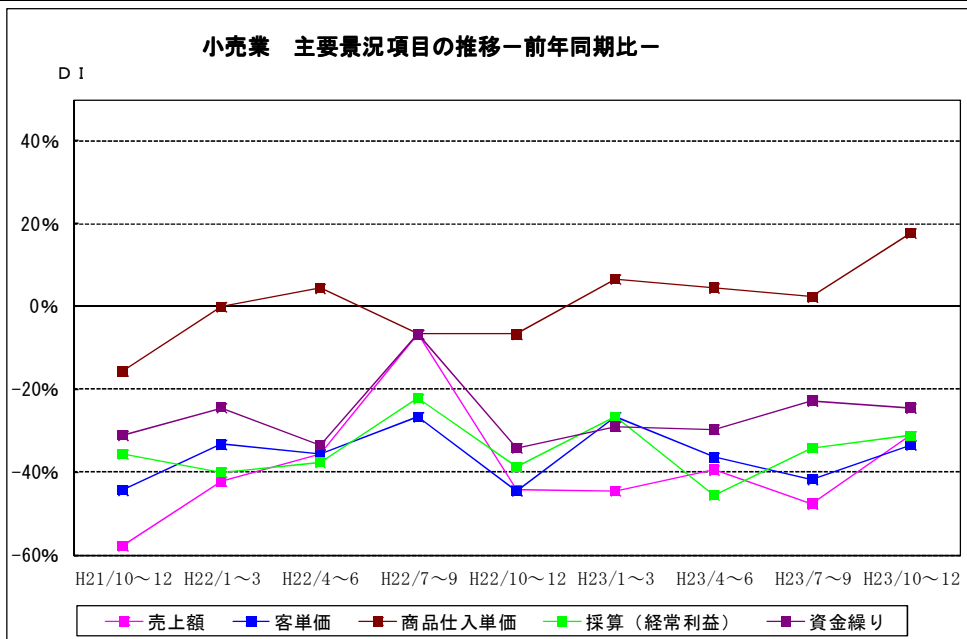
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス29.6。前期のマイナス39.5から上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス25.6と回復の見込み。



小売業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

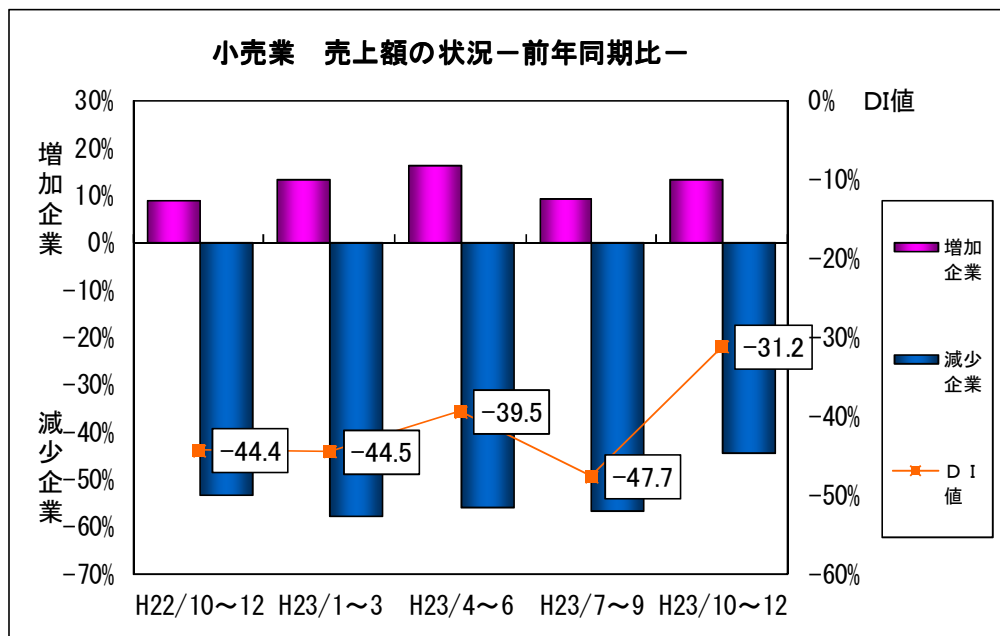
	前々期 (23年4月~6月)	前期(A) (23年7月~9月)	今期(B) (23年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上額	▲39.5	▲47.7	▲31.2	16.5	▲15.6
客単価	▲36.4	▲41.8	▲33.4	8.4	▲26.7
商品仕入単価	4.5	2.3	17.8	15.5	4.5
採算（経常利益）	▲45.5	▲34.1	▲31.2	2.9	▲22.2
資金繰り	▲29.6	▲22.8	▲24.5	▲1.7	▲8.9



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

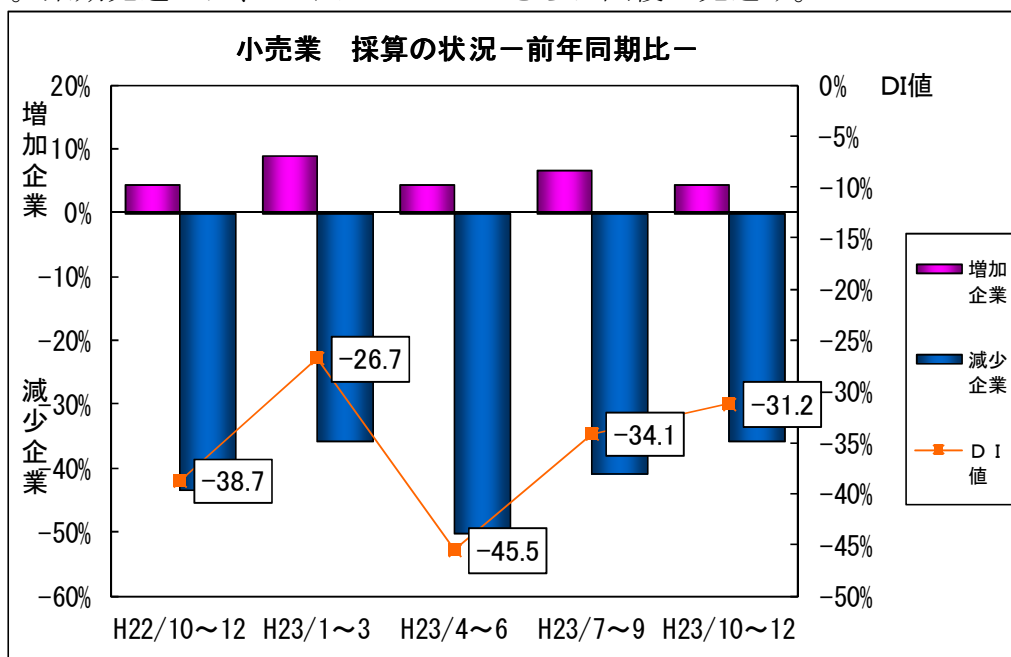
①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 31.2。前期のマイナス 47.7 から 16.5 ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス 15.6 とほぼ横ばい。



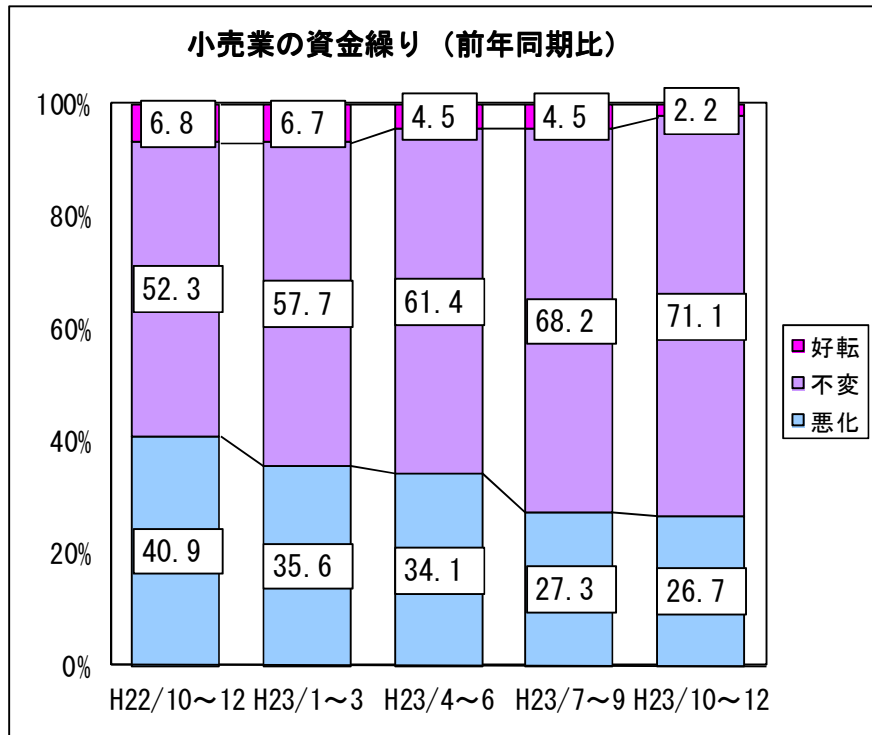
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 31.2。前期のマイナス 34.1 から 2.9 ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス 22.2 とさらに回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 24.5。前期のマイナス 22.8 から 1.7 ポイント下落した。来期見通しはマイナス 8.9 と回復の見込み。

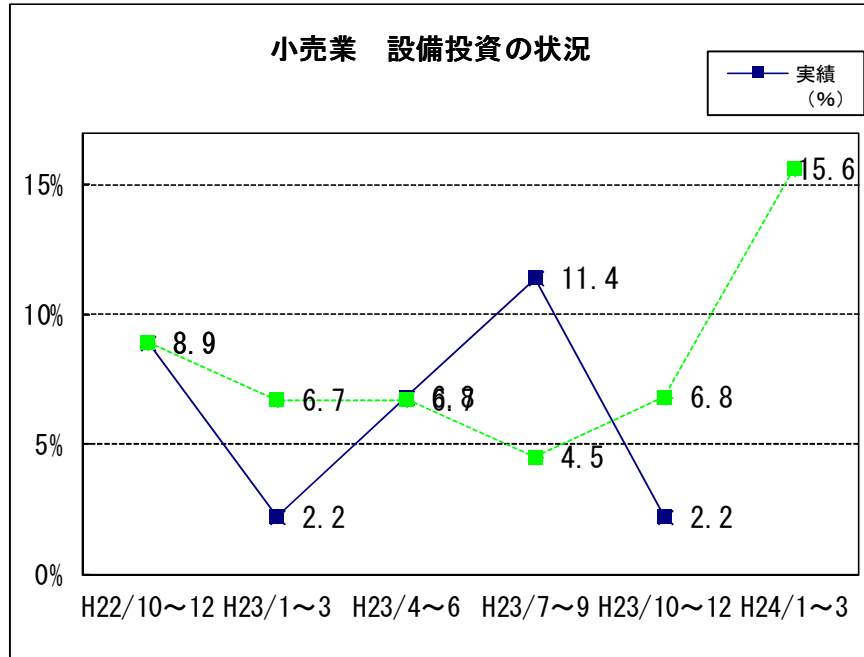


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	店 舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	5	0	1	2	2	0	0	0	1	39
(%)	11.4	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	88.6
今期実施 (実数)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	44
(%)	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	97.8
来期計画 (実数)	7	2	2	3	4	3	2	1	0	38
(%)	15.6	28.6	28.6	42.9	57.1	42.9	28.6	14.3	0.0	84.4

今期設備投資を実施した企業は 1 社 (2.2%)。前期 (平成 23 年 7~9 月期) の実施企業 5 社 (11.4%) から大幅に下落。来期は 7 社 (15.6%) が、土地、店舗、販売設備、車両、付帯施設、OA 機器、福利厚生施設への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 51.2%→今期 48.8%)
- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 41.9%→今期 41.9%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 37.2%→今期 34.9%)
- ・ 「大型店・中型店進出による競争の激化」 (前期 27.9%→今期 25.6%)

となっている。

